
ちがさき都市マスタープラン

改定骨子案に関する意見交換会〈市全体（1）〉

議事要旨

【日 時】平成 30 年 7 月 5 日（木）19:00～20:00

【場 所】茅ヶ崎市役所

【出席者】4 名

【対象地域】市全域

【議事要旨】

(1) 開会の挨拶－茅ヶ崎市都市部都市政策課 後藤課長

(2) 全体スケジュール

(3) 地域意見交換会の目的（テーマ）

1. 市が考える「都市づくり」と今後 10 年間における地域が考えている「都市づくり」に相違がないか
2. 地域として、今後 10 年間で重点的に取り組みたいと考えている事

(4) 都市マスタープランとは

(5) 都市マスタープラン骨子案（全体構想・地域別構想）について

(6) 意見交換 【凡例】●：参加者、→：市

●ちがさき都市マスタープラン改定骨子案は、市民の意見が反映されているとは思えない。策定委員会を傍聴しているが、委員から市民はどのように考えているのかを質問された際、市から満足いく回答ができていないように感じている。市民意見をアンケート調査等で把握し、市で改定骨子案を作成した上で、策定委員会を開催した方が良かったのではないかと。平成 20 年 6 月改定の際は、どのようにプランを策定したのか併せて質問したい。

→これまで、13 地域毎に意見交換会を実施してきたが、市民集会と同様、自宅周辺の道路の問題など、具体的な問題点をご指摘いただきました。個別具体的内容は事業担当課へ伝達するとともに、個別計画の見直しの際に留意してもらうよう依頼する。また、13 地域別の意見交換会や本日の意見交換会でいただいた意見については今後、都市マスタープラン素案を策定する際、策定委員会へ諮りながら、修正の方向性を検討したい。

なお、平成 20 年 6 月改定の際は、平成 17 年から改定準備をはじめた。当時は市民会議を設立し、35～40 名の市民の皆さんと 2 週間に 1 回、計 37 回の会議を開催し意見をいただいた後、プランを改定した。その背景としては、平成 9 年に策定したプランは、行政主体の計画で、市民の意見が反映された計画になっているのかという議論も庁内的にあったので、前述の方法でプランを改定している。

●都市防災の方針が記載されている中で、エネルギーの安定供給の視点も記載できると良いのではないかと。

→被災後の復興、復興事前準備の視点で、重要な事項であると考え。今後、具体的な内容については検討していきたい。

以 上

ちがさき都市マスタープラン

改定骨子案に関する意見交換会〈市全体（2）〉

議事要旨

【日 時】平成30年7月7日（土）10:00～11:00

【場 所】茅ヶ崎市役所 分庁舎5階 A・B会議室

【出席者】市民2名

【対象地域】市全域

【議事要旨】

(1) 開会の挨拶―茅ヶ崎市都市部都市政策課 後藤課長

(2) 全体スケジュール

(3) 地域意見交換会の目的（テーマ）

1. 市が考える「都市づくり」と今後10年間における地域が考えている「都市づくり」に相違がないか
2. 地域として、今後10年間で重点的に取り組みたいと考えている事

(4) 都市マスタープランとは

(5) 都市マスタープラン骨子案（全体構想・地域別構想）について

(6) 意見交換 【凡例】●：参加者、→：市

〈茅ヶ崎らしさについて〉

- 茅ヶ崎市を茅ヶ崎らしく構築していきたいと思っている。茅ヶ崎市は大型商業施設や基幹産業等がないため、特徴がないと言われることもあるが、それが茅ヶ崎市の良さになっている。茅ヶ崎市に居住していると話すとき「良いですね」と言われることが多い。茅ヶ崎市は、自然環境や文化等が育まれてきたため、他市の住民から良い土地だと認識されているのだと思う。このような茅ヶ崎市の良さを守るためにも、開発等のキーワードに踊らされず、茅ヶ崎らしさを計画に盛り込んでもらいたい。
- 茅ヶ崎市の南側に居住しているが、病院等の生活に必要な施設は10分圏内に立地しており、施設同士を繋ぐコミュニティバス等の交通網も充実している。個人的には茅ヶ崎市を良いまちと感じているが、友人等からは「何もない」と言われるため、寂しく思っている。茅ヶ崎市はサーフィン等も盛んで、掘り起こせば沢山の魅力が発見できる。茅ヶ崎市の魅力を上手くアピールできていない現状は、非常に残念だ。
- 茅ヶ崎市にはサザンオールスターズ等の音楽を中心にした文化がある。再現性のあるまちづくりを行うためには、音楽が1つのキーワードになると考えている。柳島スポーツ公園にコンサート会場を整備するのはどうか。

〈茅ヶ崎の産業について〉

- 北西部地域の萩園は、企業誘致等の開発や整備が進んでいる。ものづくりやIT企業等を誘致して、地域の産業を育成していくと良い。茅ヶ崎市の文化振興に寄与するような産業の育成は、茅ヶ崎市の将来に繋がっていく。茅ヶ崎市には伝統的なものづくり産業がないため、様々な足枷がなく、産業を発展させるには良い条件だと思う。

→萩園は土地区画整理事業で、産業系あるいは工業系の企業誘致を進めている。産業系の中には、物流や研究機関等の様々な業種の誘致を検討したが、物流企業に決まりつつある。茅ヶ崎市の文化振興に寄与するような企業誘致が今からでも可能なのかは拠点整備課に確認する。

<バランスの取れた人口構造の実現について>

●20年後を見据えた計画ということだが、実際はさらに長い年月で計画を考える必要がある。これから100年後には、日本の人口は5,000万人になると言われている。茅ヶ崎市にどれだけの流入があるかによって、市財源は変わってくる。多くの子育て世代が流入してきて、若者が出ていかないまちを目指すが良い。そのためには、文化や教育等に力点を置くことが重要だと思う。

→2年後には茅ヶ崎市の人口はピークになると推計されている。人口が右肩上がりの時代とは異なり、施策も転換していかなければならない。社会情勢の変化等による施策の見直しだけでなく、「茅ヶ崎の強み、茅ヶ崎らしさとは何か」という観点を施策に盛り込まなければ、今後の都市間競争に勝つことができない。各施策に「茅ヶ崎の強み、茅ヶ崎らしさとは何か」という観点を盛り込むことで、若者が流出しないまちを目指す。手法等の詳細は、個別の計画で議論する。

<都市計画道路等の整備について>

●鶴嶺中学校の東側に都市計画道路を整備する予定になっているが、今後、茅ヶ崎市の人口は減少し、車の減少が見込まれるため、現在の道路で充分だと思う。道路や建物の整備ではなく、茅ヶ崎らしさの向上に繋がるような分野に市財を投じてもらいたい。また、自転車の利用者が多いという茅ヶ崎市の特性からも、幹線道路は増やさない方がよい。新しい道路を増やすよりも、既存道路の改良及びバリアフリー化等を優先的に進めてもらいたい。

→都市計画道路（南湖深田線）については、計画線のみで事業化の目処が立っていない。茅ヶ崎市では10年前に都市計画道路の見直しを実施している。今後も10年、20年の間隔で、都市計画道路の見直しを実施していく方針が示されている。前回の都市計画道路の見直しでは、交通の南北軸が弱いという指摘から、南湖深田線を留保付き存続という形にした。次回の見直しでは、社会情勢の変化等も考慮して、南湖深田線の必要性を再検討する。また、既存道路の工事及びバリアフリー化等を優先的に進めた方がよいという議論もあるため、計画を全体的に見直す必要も出てきている。

<都市拠点における土地利用について>

●エメロードの一等地に、ファミリーマートが平屋で建設された。この土地は市の中心部に位置しているため、マンションを建築する等、もっと有効利用することが可能だと思う。土地をどのように活用すれば、より多くの市民のためになるのかという観点も計画に盛り込む必要がある。現在、エメロードでは、商店の建替えや駐車場化が進んでいる。茅ヶ崎市が商業機能を駅前に集約したいと考えているならば、今から計画を進めなければ難しいと思う。

→現在、茅ヶ崎市には建物を共同化する制度等はあるが、制度の認知が低い状況である。

また、ファミリーマートの立地は、都市計画法の用途地域の中で、商業地域、第4種高度地区にも指定されているため、31m以内という高さ制限が設けられている。しかし、高さ制限に関しては、地域によるローカルルールで対応することは可能だと思う。土地活用については、地域や商店街の意見を聞きつつ、検討していきたい。

<コンパクトシティ化について>

- 茅ヶ崎市も市街化区域や駅周辺に人口を集中させて、コンパクトシティ化を図るべきなのか。
→茅ヶ崎市は既にコンパクトシティだと認識している。しかし、今後、高齢社会を見据えて、都市拠点や生活に必要な施設等にアクセスできる交通手段は充実させる必要がある。「茅ヶ崎らしさ」を高める都市づくりを行うために、都市機能が近接している環境を整備する。都市拠点の機能を強化するとともに、都市拠点を繋ぐ交通網を強化する。

<ゴルフ場跡地について>

- ゴルフ場跡地の開発が検討されているが、茅ヶ崎市の特色を活かした内容の計画にしてもらいたい。例えば、動物園や植物園を整備することで、134号を通行する車にも茅ヶ崎市に関心を持ってもらう。または、茅ヶ崎市由来のアーティストのミュージアムやコンサート会場を整備することで、茅ヶ崎市に観光客を呼び込む。観光客が集まる環境を整備できれば、茅ヶ崎市の商業が活性化して、茅ヶ崎市の力になると思う。他市の住民に薦められる観光地ができれば、茅ヶ崎市に誇りを持つことができる。ゴルフ場跡地の現状の計画を教えてください。
- ゴルフ場跡地については、21頁の南東部地域整備方針図(案)でも緑地ゾーンに定めているように、みどりと防災を重視する空間として整備していく予定である。22頁の「工場や大規模施設等の跡地の利用については、無秩序な転換を行わないよう社会情勢の変化や地域特性に応じた適正な土地利用を誘導する」という方針や市民の意見に配慮しつつ開発を進めていく。134号については、柳島方面に道の駅を整備する計画が検討されている。また、漁港についてもグランドプランが策定されており、活性化を図っていく予定である。今後、134号を湘南全体の広域交流軸として捉え、周辺を活性化させていきたいと考えている。観光についての意見は、産業振興課に伝えておく。
- ゴルフ場跡地の開発は神奈川県が主体のため、茅ヶ崎市の問題ではない。以前、ゴルフ場跡地の一部を住宅にする計画があったが、ゴルフ場跡地はクラスター地域に立地しており、住宅整備には向いていないと思う。茅ヶ崎市のランドマークになるような開発計画を神奈川県に提案してもらいたい。
- 茅ヶ崎市民から市に対して、ゴルフ場跡地の環境を保全してもらいたいという要望が届いている。市からも神奈川県に対して、環境の保全を強く訴えている。

<景観について>

- 海外のまちは建物の構造や色調を統一することで、景観を綺麗に見せている。茅ヶ崎市でも建物を塗り替える場合の色を指定する等、景観を綺麗に見せる手法を検討してもらいたい。少なくとも、雄三通り等のメインストリートには景観に関する規制を検討してはどうか。
- 茅ヶ崎駅北口等特別景観まちづくり地区に指定し、建物の色調や看板等の指導を随時行っている。地区計画や建築協定等でも景観要素や建築制限は指定できるため、この制度を地域で活用してもらいたい。
- 以前の港には平島の鳥居等があり、とても良い景観だったが現在は失われている。平島や漁港等の茅ヶ崎市特有の景観を再生すると、より特色あるまちになるのではないかと。
- 地元の資源となる眺望等の保全についても、景観計画の中で定めている。今後も漁港整備が計画されているが、茅ヶ崎らしい漁港の景観を保全したいという要望は経済部局に伝えておく。

●港の漁業市場が廃止になったと聞いたが、漁はしなくなるのか。

→平塚と合同で漁業市場を開業している。

●港には釣り船屋が多く、漁をしているイメージがない。漁港を移転すれば、平島の景観等を再生できるのではないか。平島は烏帽子岩に続く、茅ヶ崎市特有の景観になると思う。

●建物の色調等は建築確認の項目に定められていないのか。

→建物の色までは定められていないが、特別景観まちづくり地区に指定し、ある程度の基準を設けることで、建築行為の届出等の際に指導や助言を行っている。地区計画等で建物の色調が定められている場合には、指導・助言を行っている。

以 上